

第5回あつぎ子ども議会(中学生議会)会議録

厚 木 市

第5回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

令和6年8月19日（月）午後1時45分開会

出席議員 18人

1番	藤塚中学校	宮部	倅	多
2番	林中学校	椎野	望	斗
3番	玉川中学校	宮本		陽
4番	睦合中学校	田崎	理	紗
5番	林中学校	村上	那	智
6番	依知中学校	油谷	星	風
7番	荻野中学校	日野	舞	花
8番	東名中学校	高橋	青	愛
9番	厚木中学校	佐々木	英	士
10番	森の里中学校	江口	愛	美
11番	南毛利中学校	椿	優	杏
12番	東名中学校	高橋	優	芽
13番	荻野中学校	福住	花	穂
14番	南毛利中学校	中村	謙	心
15番	厚木中学校	柿木	朝	有
16番	南毛利中学校	高良	来	翔
17番	南毛利中学校	高橋	瑠	海
18番	厚木中学校	岸野	遥	馬

欠席議員 なし

説明のための出席者

市長	山石	口塚	貴	裕
副市長	上	塚前	行	修
副市長	大	野	徳	男
企画部長	安	齊	博	一
総務部長	鈴	木	俊	之
行政総務課長	若	林	伸	寛
財務部長	遠	藤	利	男
市民福祉部長	益	子	知	眞
健康こどもみらい部長	見	上	幸	彦
市民交流部長	田	坂		司
産業文化スポーツ部長	柏	木		治
環境農政部長	小	宮	和	浩
循環型社会推進担当部長	高	坂	英	茂
都市みらい部長	鈴	木		登
建築・許認可担当部長	内	藤		徹
市街地整備担当部長	前	場		悟
都市インフラ整備部長	志	村	正	徹
会計管理	岡	田	政	美
消防	岸		康	弘
病院事業局長	佐	後	佳	弘
教育局長	岸	間	俊	親
教育委員会教育部長	長	川	光	彦
教育委員会教育指導担当部長	梅	澤	由	眞
選挙管理委員会事務局長	村	上	美	和
監査事務局局長	三	橋		子
農業委員会事務局長				浩

事務局出席者

事務局局長	高	橋	幸	雄
議会総務課長	矢	部	浩	之
議会総務課副主幹	富	塚	優	子

速記員出席者

(株)澤速記事務所速記士	大	場	久	美
			子	

議 事 日 程

- 1 議席の指定
- 2 会議録署名議員の指名
- 3 会期の決定
- 4 一般質問

番号	学校名	子ども議員名	質問要旨
1	藤 塚 中 学 校	宮 部 倖 多	市民共通の休養日について
2	林 中 学 校	椎 野 望 斗	「平和な世界」について
3	玉 川 中 学 校	宮 本 陽	高齢者への支援について
4	睦 合 中 学 校	田 崎 理 紗	かなちゃん手形の対象の拡大について
5	林 中 学 校	村 上 那 智	厚木市、愛川町、清川村が共同で行っているごみ処理について
6	依 知 中 学 校	油 谷 星 風	市内中学校での模擬選挙について
7	荻 野 中 学 校	日 野 舞 花	デジタル教科書の導入について
8	東 名 中 学 校	高 橋 青 愛	教室へのエアコン設置について
9	厚 木 中 学 校	佐々木英士	夏休み期間の小学校プールの開放及び青少年広場の開発について
10	森 の 里 中 学 校	江 口 愛 美	先生の働き方について
11	南 毛 利 中 学 校	椿 優 杏	給食の在り方について
12	東 名 中 学 校	高 橋 優 芽	給食費の無償化について
13	荻 野 中 学 校	福 住 花 穂	あつぎ鮎まつりの日程について
14	南 毛 利 中 学 校	中 村 謙 心	商業施設について
15	厚 木 中 学 校	柿 木 朝 有	交通安全について
16	南 毛 利 中 学 校	高 良 来 翔	ガードレールの設置について

本日の付議事件

- 1
 - ↳ 議事日程に同じ
 - 4
-

○松田則康実行委員長 （登壇）皆様、こんにちは。第5回あつぎ子ども議会に御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、第5回あつぎ子ども議会実行委員会実行委員長の松田則康でございます。

ただいまから出席者の御紹介をさせていただきます。

初めに、中学生議員を紹介いたします。

中学生議員の前列から順に紹介しますので、名前が呼ばれましたら、元気よく返事をしていただき、起立、礼、着席の順でお願いします。

藤塚中学校・宮部倅多議員。

○宮部倅多議員 はい。

○松田則康実行委員長 林中学校・椎野望斗議員。

○椎野望斗議員 はい。

○松田則康実行委員長 玉川中学校・宮本陽議員。

○宮本 陽議員 はい。

○松田則康実行委員長 林中学校・村上那智議員。

○村上那智議員 はい。

○松田則康実行委員長 睦合中学校・田崎理紗議員。

○田崎理紗議員 はい。

○松田則康実行委員長 依知中学校・油谷星風議員。

○油谷星風議員 はい。

○松田則康実行委員長 荻野中学校・日野舞花議員。

○日野舞花議員 はい。

○松田則康実行委員長 東名中学校・高橋青愛議員。

○高橋青愛議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・佐々木英士議員。

○佐々木英士議員 はい。

○松田則康実行委員長 森の里中学校・江口愛美議員。

○江口愛美議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・椿優杏議員。

○椿 優杏議員 はい。

○松田則康実行委員長 東名中学校・高橋優芽議員。

○高橋優芽議員 はい。

○松田則康実行委員長 荻野中学校・福住花穂議員。

○福住花穂議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・中村謙心議員。

○中村謙心議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・柿木朝有議員。

○柿木朝有議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・高良来翔議員。

○高良来翔議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・高橋瑠海議員。

○高橋瑠海議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・岸野遥馬議員。

○岸野遥馬議員 はい。

○松田則康実行委員長 次に、厚木市議会の関係者を紹介いたします。

遠藤浩一厚木市議会議長です。

○遠藤浩一厚木市議会議長 はい。

○松田則康実行委員長 高橋知己厚木市議会副議長です。

○高橋知己厚木市議会副議長 はい。

○松田則康実行委員長 第5回あつぎ子ども議会実行委員会副委員長の井上武議員です。

○井上 武副実行委員長 はい。

○松田則康実行委員長 次に、市の関係者を紹介させていただきます。

中学生議員の皆様から向かいまして左手前列、右から、山口貴裕厚木市長です。

○山口貴裕市長 はい。よろしくお願いいたします。

○松田則康実行委員長 そのお隣が石塚修副市長です。

○石塚 修副市長 はい。よろしくお願いいたします。

○松田則康実行委員長 そのお隣が上前行男

副市長です。

○**上前行男副市長** はい。よろしくお願いします。

○**松田則康実行委員長** 右手前列に参りまして、佐後佳親教育長です。

○**佐後佳親教育長** はい。よろしくお願いします。

○**松田則康実行委員長** 最後に、両側の2列目以降につきましては市の各部長となりますが、お手元に配付の資料により紹介とさせていただきますので、よろしくお願いします。

それでは、中学生議員の皆様並びに理事者の皆様、御起立願います。

一同、礼。

御着席願います。

ここで遠藤浩一厚木市議会議長から挨拶をいたします。

○**遠藤浩一厚木市議会議長** （登壇）18名の中学生議員の皆様、こんにちは。厚木市議会議長の遠藤浩一と申します。

本日は、第5回あつぎ子ども議会中学生議会に御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

リハーサルで経験をされておりますが、改めて、今、私たちがいるこの場が厚木市議会の議場です。この議場で、厚木市議会議員は、市民の皆様の暮らしをよりよくするためなど議論をし、意思を決定しております。

本日は、現役の議員に代わり、18名の中学生議員の皆様が議長、議員となり、それぞれ準備をされた質問をしていただきます。私たちも、中学生議員の皆様の質問に気づきや発見や学ぶことがあるものと、楽しみにしております。そして、今日のこの経験が、皆様にとってこれからの力となることを願っております。リハーサルのときのように顔を上げ、胸を張り、堂々と質問をしてください。

それでは、本日はよろしくお願いいたします。

○**松田則康実行委員長** ありがとうございます。

次に、山口貴裕厚木市長から御挨拶をいただきます。

○**山口貴裕市長** （登壇）皆様、こんにちは。厚木市長の山口貴裕でございます。

議場にお集まりの18名の子ども議員の皆様、本日は第5回あつぎ子ども議会中学生議会に御出席をいただき、誠にありがとうございます。こうして皆さんの決意を秘めた表情を見ていますと、私も身が引き締まる思いであります。

この子ども議会は、中学生の皆さんが、日々の生活で厚木市のまちづくりについてどのように考え、将来への希望を持っているのかをお聞きするととても貴重な機会であります。この広い議場で、大人を前に質問するのは緊張するかもしれませんが、自信を持って自分の思いを、そして厚木の夢を、大きな声でお伝えをいただきたいと思います。

いただいた御意見、また、御提案は、これからのまちづくりにしっかりと生かしていきますので、皆さんも今日の経験を今後の学校生活に役立てていただき、これからも様々なことにチャレンジしていただきたいと思います。そして、子ども議員としての経験を通して、厚木市にますます関心を持ち、愛着を持ち、誇りを抱くきっかけとなることを大いに期待をいたすところでございます。

保護者の皆様には、平素から市政全般に対しまして御理解、御協力をいただいておりますことを心から感謝を申し上げます。本日は、御多用のところ傍聴にお越しいたいただき、厚く御礼を申し上げます。

本市は来年2月1日に市制施行70周年を迎えます。これは、70年もの間、多くの皆様が生きた思いを込めて、ふるさと厚木というたすきを今につなげてきた結果であります。この記念すべき節目を市全体でお祝いするため、現在、本市では、記念事業の実施に向けた準備を進めております。

私の使命は、厚木市の歴史、熱い思い、そして汗が染み込んだたすきを市民の皆さんと共に次代へとつなげていくことであると強く感じております。私は、18歳までの医療費の無償化や、小学校・中学校給食費の無償化など、安心して子育てをすることができる環境

の充実を図り、子育て、教育で選ばれるまちの実現に向けた取組をはじめ、高齢者バス割引乗車券かなちゃん手形助成額や高齢者タクシー利用券の助成の大幅拡大など高齢者の外出支援に取り組み、福祉充実による住みやすいまちの実現に向けてスピード感を持って事業を進めてまいりました。

今後につきましても、市民の皆様とまちづくりの思いを一つにして、ふるさと厚木のたすきを未来へとつなげられるよう、さらなる厚木の発展と、誰もが誇りに思い、住みたい、住み続けたい、住んでよかったと思えるまちづくりの進捗をしっかりと取り組んでまいります。皆様には、一層御理解と御協力をお願い申し上げたいと思います。

最後になりますが、厚木市子ども議会中学生議会の開催に当たりまして、多大なる御尽力をいただきました遠藤浩一市議会議長、松田則康実行委員長をはじめとする市議会議員の皆様、そして保護者の皆様、そして学校関係者の皆様、そして子ども議員の皆様に感謝を申し上げるとともに、本日の子ども議会が皆様の御協力により意義深いものとなりますことを心より祈念を申し上げ、開会に当たっての私からの挨拶とさせていただきますと思います。本日はよろしく願いいたします。

○松田則康実行委員長 市長、議長、誠にありがとうございました。

それではこの後、南毛利中学校・高橋瑠海議長の議事進行により、あつぎ子ども議会を進めてまいります。

それでは、高橋議長、よろしく願いいたします。

○高橋瑠海議長 ただいまの出席議員は18人で定足数に達しております。

ただいまから第5回あつぎ子ども議会中学生議会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおりです。

○高橋瑠海議長 日程1「議席の指定」を行います。

議席は、厚木市議会会議規則に準じ、議長において指定いたします。

議席番号1番から18番まで、ただいま御着席の議席を指定いたします。

○高橋瑠海議長 日程2「会議録署名議員の指名」を行います。

厚木市議会会議規則に準じ、第5回あつぎ子ども議会の会議録署名議員を議長から指名いたします。

厚木中学校・佐々木英士議員、東名中学校・高橋優芽議員、依知中学校・油谷星風議員の3人をお願いいたします。

○高橋瑠海議長 日程3「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。第5回あつぎ子ども議会の会期は、本日1日とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

御異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたしました。

○高橋瑠海議長 日程4「一般質問」を行います。

通告に従い、順次質問を許します。

まず、第1グループの質問から行います。

藤塚中学校・宮部倅多議員。

林中学校・椎野望斗議員。

最初に、藤塚中学校・宮部倅多議員。

○1番 宮部倅多議員 (登壇) 藤塚中学校の宮部倅多です。

私は、日々生活をしていく中で、部活動やふだんの学校生活によって、また、両親の仕事の休日が合わないといった理由で、休日に予定を入れづらいと感じていました。

これに対し、ほかの学生は同じように感じている部分がないのかと思い、調べたところ、ほかの学生もそう感じている部分があるとのことで、さらに、愛知県では、1年度に3日、休んでも欠席にならない日を設けるという政策を実施しております。それを知り、厚木市ではそのような策を実施する予定はな

いのかという疑問を持ち、また、年に何日か、市民共通の休養日を設けるとよいのではないかと考えました。

厚木市ではこういった政策を行う予定はないのか。また、こういった政策を行うことは可能なのかと質問させていただきます。

○高橋瑠海議長 次に、林中学校・椎野望斗議員。

○2番 椎野望斗議員 （登壇）林中学校の椎野望斗です。

僕はよくニュースを見ます。そこで最近目にするのが戦争です。約2年も続いているウクライナとロシアの戦争、ガザ地区で行われているハマスとの戦争、連日たくさんの戦争を見てきました。たくさんの友好都市を持つ厚木市でどのような支援が行われているのか、それに自分も協力できないかと考えるようになりました。厚木市という場でずっと暮らしてきたからこそ、厚木市でどのような支援を行っているのかを知りたいと思います。

自分は今まで災害などのボランティアを行ってきました。ですが、災害と戦争のボランティアの仕方は違うと思います。そこで、自分たちが行っている支援もですが、市としてどのような支援を行っているのか知りたいです。

また、友好都市を持つ厚木市で、友好都市と協力して何かしているのかということも気になりました。そのことを踏まえて質問します。

厚木市では、平和な世界を実現するためにどのような支援を行っているのかについてお答えください。

○高橋瑠海議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）ただいま藤塚中学校・宮部倅多議員から、市民共通の休養日についての御質問でございますが、児童・生徒の皆さんが保護者の方の休日と合わせて学校を休んでも欠席扱いとならないラーケーション制度を愛知県など他の地方自治体が導入していますが、厚木市では、今のところ、実施に向けた検討は残念ながら行っておりません。この制度には、それぞれの御家庭の状況

が異なることや、学校を休んだことで受けられなかった授業の内容をどのように補うのかなどの課題があるとも言われております。

ラーケーション制度の実施を検討するに当たっては、既に導入した地方自治体の成果などを確認していく必要があると考えております。

また、御提案いただいた市民共通の休養日につきましては、御家庭ごとの働き方や勤務先が異なるため、設定したとしても、一斉に休むことは難しいのではないかと考えております。

なお、厚木市では、市民の皆様が家族の絆を大切にするため、毎月第3水曜日をあつぎ家庭の日と定め、その趣旨の普及及び啓発に努めているところでございます。

次に、林中学校・椎野望斗議員から、平和な世界についての御質問でございますが、厚木市では、平成5年に国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言を行うとともに、平成22年には、核兵器廃絶と世界の恒久平和を目指す平和首長会議に加盟をいたしました。

また、友好都市である沖縄県糸満市へ中学生訪問団を派遣するとともに、糸満市の語り部の方を厚木市へお招きして御講話をいただき、戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深める平和学習に取り組んでおります。

近年では、ウクライナから避難された方を受け入れ、少しでも安心して過ごしていただけるよう、様々な支援を行ってまいりました。

今後につきましても、展示会や映画上映会等を通じて、平和な世界の実現に向けて取り組んでまいります。

○高橋瑠海議長 以上で第1グループの質問を終わります。

次に、第2グループの質問に移ります。

玉川中学校・宮本陽議員。

睦合中学校・田崎理紗議員。

最初に、玉川中学校・宮本陽議員。

○3番 宮本 陽議員 （登壇）玉川中学校の宮本陽です。

私は、高齢者福祉について質問します。

厚木市には6万人近くの高齢者の方が生活していると知りました。私も祖父母と同居しています。2人とも、今はとても元気になっていますが、今後、できないことや分からなくなってしまうことが増えてくるかもしれません。それはとても不安な日々だと思います。

市内にたくさんの高齢者の方がいるということは、その方を支えながら生活している家族も多いでしょうし、ヤングケアラーと呼ばれる若者も、少なからずいるのではないのでしょうか。実際、私の祖母も、介護のために仕事を休んだりしながら、曾祖父をサポートしているのを見てきました。私にとっても身近な現実です。

それなのに、市がどのような支援を行っているのかよく知りません。市のホームページを見るだけでは、正直、私には分かりづかったです。高齢者の方には、もっと分かりづらいかもかもしれません。

支援情報をもっと分かりやすく伝えるものや機会が増え、利用しやすくなると、安心して生活できる人が増えると思います。そのためには、困っている方々の思いに寄り添った温かな対応が必要なのではないのでしょうか。御本人や家族の話をちゃんと聞き、今どのような支援が必要なのかを見極め、適切な支援を行うことが大切だと思います。

そこで質問します。

厚木市の高齢者福祉は、その支援を分かりやすく市民に伝える努力をしていますか。また、御本人や家族が本当に必要としているサービスやサポートを受けられるシステムになっていますか、お聞かせください。

○高橋瑠海議長 次に、睦合中学校・田崎理紗議員。

○4番 田崎理紗議員 （登壇）睦合中学校の田崎理紗です。

厚木市は、本厚木駅周辺に学習塾が集中しており、私の中学校の同級生もたくさん通っています。一方で、本厚木駅は厚木市の南の端のほうにあるため、住んでいる場所によっては移動の距離がとても長くなってしまいます。私の家も7キロメートルぐらい離れてい

ます。また、自転車で通えるようにするための道の整備が不十分な箇所があり、狭い場所では車やトラックが近くを通り、とても危険に感じます。

中学生は、移動手段こそ少ないですが、行動範囲が広がり、子供たちだけで行動することが増えてきます。そのため、バスは重要な交通手段ですが、中学生から大人と同じ料金であり、私のように駅から離れた場所に住んでいる人は、移動のためのお金がたくさんかかってしまいます。

これらの理由から、私は、かなちゃん手形を子供のためにも購入できるようにしたほうがよいと思います。かなちゃん手形の対象を拡大させることによって、駅周辺の様々な学習塾を選びやすくするなど、子供により多くの機会を提供することにつながると思います。私のアイデアについて御意見をお聞かせください。

○高橋瑠海議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）玉川中学校・宮本陽議員から、高齢者への支援についての御質問でございますが、厚木市では、少子高齢化の進展により、4人に1人が65歳以上の高齢者となり、今後もさらなる増加が見込まれる中、福祉サービスの提供や様々な相談ができる環境の充実など、高齢者の皆様に寄り添った支援に取り組んでおります。

高齢者の皆様への支援については、厚木市ホームページで周知しているほか、65歳以上の方には、介護保険料のお知らせとともに、福祉サービスを説明したパンフレットや、地域の相談窓口である地域包括支援センターの案内チラシを同封して周知に努めているところでございます。

市内10地域に設置している地域包括支援センターでは、専門知識を持った職員がおり、昨年度においては、高齢者御本人や、また御家族から5万1572件もの御相談を受け、必要なサービスや制度を紹介して解決に導いているところでございます。

今後につきましても、市民の皆様の御意見を伺いながら、適切な支援に努めていきま

す。

次に、睦合中学校・田崎理紗議員から、かなちゃん手形の対象の拡大についての御質問でございます。

かなちゃん手形は、神奈川中央交通株式会社が69歳以上の方を対象に販売している割引乗車券でございます。厚木市では、高齢者の外出機会の拡大や、社会参加と生きがいをづくりを推進するために、かなちゃん手形の購入費用の一部を70歳以上の方に助成をいたしているところでございます。

路線バスは、通勤通学や買物のための重要な移動手段の一つであると認識していることから、かなちゃん手形の中学生への対象拡大については、貴重な御意見として、バス会社と共有をしてみたいと思います。

今後につきましても、若い皆様方の御意見やアイデアをお聞きしながら、必要な施策やサービスに反映させ、全ての子供、若者の皆様が幸せを感じることもまんなか社会の実現に努めてまいります。

○高橋瑠海議長 以上で第2グループの質問を終わります。

ただいまの第1グループから第2グループの質問に対する答弁について、中学生議員から再質問はございますか。椎野望斗議員。

○2番 椎野望斗議員 再質問をします。

市全体を通して、平和や戦争に関するイベントや行事などを行う予定はありますか、お答えください。

○遠藤 眞市民福祉部長 戦争の悲惨さと、戦争によって貴い命が犠牲となったことを次の世代に語り継ぎ、戦争のない社会を維持していくことこそが、平和を実現する唯一の道であると考えております。

こうしたことから、市では、様々な平和に関する事業を行っております。幾つか御紹介をさせていただきますと、平和のための展示会やピースメッセージリレーパネル展、そして平和に関する映画の上映会。また、友好都市である沖縄県糸満市から語り部の方をお招きして、戦争体験講話を小・中学生を対象として行ったり、また逆に、糸満市のほうへ厚

木市から平和の学習訪問団を派遣したりといった事業をこれまでも行っております。

今後につきましても、こうした次の世代に語り継いでいく、そういった様々な平和事業、イベントを今後も継続して行っていまいります。

○高橋瑠海議長 田崎理紗議員。

○4番 田崎理紗議員 再質問をします。

もし神奈川中央交通との話合いの結果、中学生へのかなちゃん手形の購入が難しいとなった場合、道を整備する、道幅を広くするなどの対策をし、バスでなくても安全に通れる対策をしていただけるのでしょうか。

○前場 徹都市インフラ整備部長 今、道を広げられないかという田崎理紗議員からの質問でございますが、自転車で7キロメートルあるという質問を登壇でされたと思いますが、自転車は非常に便利な乗り物であります。5キロメートルぐらいの距離ですと、自動車やバス、徒歩などよりも一番早く目的地に着くような乗り物です。当然、睦合西地区も、駅からの距離が大体5キロメートル、10キロメートルぐらいの距離ですので、自転車利用が非常に多い地域だということで、市としては認識しているところでございます。

自転車につきましては、御承知だと思いますけれども、車道を走ることが原則となっております。こういったことから、厚木市では、自転車の走行空間の整備に向けて進めております。

今、道を広げてはというようなお話がありましたが、当然道路を広げて自転車が専用で走れるような走行空間ができるのが一番望ましいことなのですけれども、道路を広げるには、どうしても土地を買収させていただいて広げなければいけない。要するに、民地、土地をお持ちの方の御協力が必要になってきますので、なかなかそれは時間もかかってくるということもございますので、市では、今、田崎理紗議員も見たことがあると思いますが、青い、道路にある矢印を、街なかを含めて積極的に進めているところでございます。

こういった自転車走行空間というのですけれども、その走行空間の整備を今後も進めていきまして、ハード整備というのですけれども、そういったハード整備と併せて、自転車に乗る人のマナー、それから、車に乗る人も自転車に危害を及ぼさないように、自転車に配慮したような運転を心がけるようなマナーの啓発の取組、ソフト施策というのですけれども、こういったハード施策とソフト施策を市内の関係部署と十分連携して、これからも人に優しい道づくりを進めていきたいと思えます。

○高橋瑠海議長 ほかになければ以上で終わります。

次に、第3グループの質問に移ります。

林中学校・村上那智議員。

依知中学校・油谷星風議員。

○高橋瑠海議長 最初に、林中学校・村上那智議員。

○5番 村上那智議員 （登壇）林中学校の村上那智です。

厚木市では様々なイベントを行っていて、私は、イベントを通して、厚木市のまちづくりに興味を持っていました。そして、オリエンテーションの際に、議員さんが厚木市のまちづくりについてたくさんのお話をしてくださいました。そのお話の中で、厚木市、愛川町、清川村の市町村が共同でゴミ処理を行っていることについて一番興味を引かれました。

そして、私は、そのことについて、どのように市町村で意見をまとめるのか、ゴミ処理のときにかかるお金をどのように管理しているのかなど、どのように運営しているのかを疑問に思いました。

そこで、市町村が行っているゴミ処理について、どのような運営の仕方をしているのか教えてください。

○高橋瑠海議長 次に、依知中学校・油谷星風議員。

○6番 油谷星風議員 （登壇）依知中学校の油谷星風です。

最近、勉強の質の向上を感じ、それは社会

を担う人たちを育てるためだと思います。これから私たちが社会に貢献するために、政治を知ることが大切だと思います。その政治を行っているのは議員で、その議員を決めるのが選挙です。現状としては、選挙権を持っている大人が選挙へ行かないことが問題だと思っています。これから先、投票率を上げるために、中学生のうちから選挙への経験を積む必要があると考えます。

市内中学校で模擬選挙を行う考えはありますか、お答えください。

○高橋瑠海議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）林中学校・村上那智議員から、厚木市、愛川町、清川村が共同で行っているゴミ処理についての御質問でございますが、厚木市では、愛川町の燃えるゴミ、清川村の燃えるゴミと粗大ゴミを市内の金田にある環境センターで処理をしています。

ゴミ処理に当たっては、ゴミの量に応じて厚木市に処理費用を支払うことになっています。昨年度、愛川町からは8330トンのごみを受け入れ、処理費用は1億8330万円になり、清川村からは660トンのごみを受け入れ、処理費用は1460万円になりました。

なお、来年12月からは、厚木市環境センターの北側に厚木愛甲環境施設組合が建設を進めている新たなゴミ中間処理施設で処理を進めることとなります。

厚木愛甲環境施設組合は、厚木市、愛川町及び清川村で構成する組織で、新たなゴミ中間処理施設は、それぞれの自治体が排出したゴミの量に応じて負担する費用によって運営することとなっております。

新たなゴミ中間処理施設では、ゴミ処理の過程などを実感できるリアリティーにこだわった施設見学が可能となるよう準備を進めており、多くの市民の皆さんが見学にお越しいただくことを期待しているところでございます。

今後につきましても、市民の皆様の御協力をいただきながら、ゴミの分別徹底や食品ロスの削減など、ゴミの減量化・資源化を推進

し、ごみ中間処理施設の運営が円滑に行われるよう取り組んでまいります。

以上でございます。選挙管理委員会に関する事項につきましては、選挙管理委員会事務局局長から御答弁申し上げます。

○高橋瑠海議長 選挙管理委員会事務局局長。

○梅澤光和選挙管理委員会事務局長 （登壇）依知中学校・油谷星風議員から、市内中学校での模擬選挙についての御質問ですが、全国的に選挙の投票率の低下が課題となっている中で、本市においても各選挙の投票率は少しずつ下がっています。

厚木市では、啓発活動の一環として、新有権者の方へのバースデカードの送付などを行っているほか、選挙時には啓発物品を配布しながら、投票日、投票の呼びかけを行い、投票率の向上に努めているところです。

将来、選挙権を得ることになる中学生の皆さんに選挙への関心を持っていただくことは、大変有意義であると考えます。今後につきましても、中学生の皆さんが、模擬選挙を含む出前授業などを通じ、選挙について学ぶ機会づくりを学校と連携しながら進めていきます。

○高橋瑠海議長 以上で第3グループの質問を終わります。

次に、第4グループの質問に移ります。

荻野中学校・日野舞花議員。

東名中学校・高橋青愛議員。

○高橋瑠海議長 最初に、荻野中学校・日野舞花議員。

○7番 日野舞花議員 （登壇）荻野中学校の日野舞花です。

私は、毎日の学校の行き帰りが大変だと感じています。教科書や資料集、ノート、ファイル、また最近ではクロームブックも荷物に加わりました。ペーパーレスのためにクロームブック上で課題が上がるが多くなったからです。そのため、特にテスト期間では荷物が多く、この間、興味本位で量ってみたら、10キログラムもありました。リュックに入り切らない副教科の分は入れずに10キログラムなので、相当な量だと思います。

このような重い荷物を持ち、徒歩で通っているため、体への負担も大きいと思います。そのため、私は、学校から持ち帰る教材を減らすべきだと思います。

現時点で、英語ではデジタル教科書が導入されていますが、紙の教科書との併用なので、部分的にしか使われていません。このデジタル教科書をもっと上手に活用すれば、教材の量を減らすことができるのではないのでしょうか。

具体的には、全教科デジタル教科書を導入するという活用方法があります。デジタル教科書を使う授業を基本として、紙の教科書を学校に持っていくかどうかは個人の判断でいいと思います。そうすることで、各教科の教科書分の重さが削減され、クロームブックとその他必要なもののみを持っていけばよくなるので、荷物も大幅に減らすことができます。

このようなデジタル教科書全教科導入についてお答えください。

○高橋瑠海議長 次に、東名中学校・高橋青愛議員。

○8番 高橋青愛議員 （登壇）東名中学校の高橋青愛です。

私の通う東名中学校にはエアコンがついていない教室があります。温暖化の影響で、これから夏にかけて暑くなることが予想されます。今の状態だと、熱中症になる人が出かねないと思います。ほかの学校はどうか分かりませんが、私の通う東名中学校では、家庭科室、理科室、美術室、木工室などがついていません。

授業に集中して取り組むため、全ての教室、または使用する教室にエアコンをつけることは可能かどうか、お答えください。

○高橋瑠海議長 教育長。

○佐後佳親教育長 （登壇）荻野中学校・日野舞花議員から、デジタル教科書の導入についての御質問ですが、平成31年4月に学習者用デジタル教科書に関する関係法令が施行されたことにより、紙の教科書と併せてデジタル教科書を使用することが可能となりました。

た。現在、小学校5年生から中学校3年生までを対象として、英語については全ての、算数、数学については一部の小・中学校においてデジタル教科書が導入されています。

国では、今後、段階的に提供することとしていますが、全教科での導入時期については明確に示されていません。

また、持ち帰る教材を減らすことにつきましては、学校へ工夫例を示していますが、議員からの要望を踏まえ、改めて学校にお知らせします。

次に、東名中学校・高橋青愛議員から、教室へのエアコン設置についての御質問ですが、近年の猛暑においても快適な教育環境を確保するため、学校内で児童・生徒の皆さんが使う教室には冷暖房設備を設置していく必要があると考え、令和4年度から、市立小・中学校の特別教室に設置を進めています。

また、今年度から3年間で、市立小・中学校の全ての体育館に設置を完了する予定です。

なお、東名中学校では、今年度中に、被服室、理科室、美術室、木工室などの特別教室と体育館に冷暖房設備を設置することとしています。

今後につきましても、教育で選ばれるまちの実現に向け、児童・生徒の皆さんが安心・安全で快適な学校生活を送ることができるよう、学校施設の適切な維持管理に努めていきます。

○高橋瑠海議長 以上で第4グループの質問を終わります。

ただいまの第3グループから第4グループの質問に対する答弁について、中学生議員から再質問はございますか。油谷星風議員。

○6番 油谷星風議員 再質問をします。

この考えについて学校で話し合いをしますが、私はその話し合いだけで終わらせたくないと考えているので、実現するためにはどうしたらいいか、できるだけ具体的に教えてほしいです。

○梅澤光和選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会では、学校で行う生徒会選挙に投票

箱や投票記載台などを貸し出しています。本番さながらの投票を行うことで、1人1票の平等な選挙、本人の意思で投票する選挙、投票の秘密が守られた選挙など、投票所の大切なルール等について学ぶことができると考えております。学校の先生方を通じて選挙管理委員会に申出をしていただければ、学校と連携をしながら進めていきたいと思っております。

○高橋瑠海議長 ほかになければ以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後2時32分 休憩

午後2時42分 開議

○岸野遥馬議長 再開いたします。

第5グループの質問に移ります。

厚木中学校・佐々木英士議員。

森の里中学校・江口愛美議員。

最初に、厚木中学校・佐々木英士議員。

○9番 佐々木英士議員 （登壇）厚木中学校の佐々木英士です。

今回この質問をしようとしたきっかけは、昨年まで河原にある市営プールを夏休みに使っていて、閉鎖され残念に思っていたからです。また、青少年広場を小さいときからよく使用していましたが、ボールの使用ルールなどがあり、今後、その周辺が開発されると聞き、ぜひ意見を述べたいと思ったからです。

屋外のプールがなくなってしまうと、近くにプールを利用できる場所がなくなってしまうと思うので、小学校のプールを夏休みだけ開放するなどしてほしいです。そして、河原にグラウンドなどをつくって、ボールなどで遊べるようにしてほしいです。

夏休みだけでも小学校のプールを開放してもらえないか、質問します。

また、青少年広場の開発はどのようになるのか、お答えください。

○岸野遥馬議長 次に、森の里中学校・江口愛美議員。

○10番 江口愛美議員 （登壇）森の里中学校の江口愛美です。

部活動の顧問の先生の働き方について質問

します。

今回、私がこの質問をしようと思ったきっかけは、母が、私たちが部活動から帰ってから先生方は仕事をしているから感謝しなさいと言っていたことです。

現在、私の学校では育休の先生や非常勤の先生が多く、顧問の先生が2人いても、午後や土日の練習に出られないということがあり、1人で見えていただいていることもあります。私も、部活動を通して、授業だけでは学ぶことができない仲間とのコミュニケーションの取り方など多くのことを学びました。なので、部活動を盛り上げ、多くの人に経験してもらいたいです。

しかし、現在、部活動での先生方の負担が多いという問題があります。先生の善意ややる気のみで頼ってしまう状況を改善するための策はありますか。

○岸野遥馬議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）厚木中学校・佐々木英士議員から、夏休み期間の小学校プールの開放及び青少年広場の開発についての御質問でございますが、厚木市では、令和2年度まで小学校の学校プール開放事業を実施しておりましたが、利用者が減少したことにより、事業を終了いたしております。費用対効果の観点から事業を再開することは難しいため、年間を通じて使用できる荻野運動公園やふれあいプラザのプールの利用促進を図っているところでございます。

また、厚木青少年広場を含めた三川合流点については、将来的な構想はありますが、当面の間、厚木青少年広場等のスポーツ施設は現在のまま御利用いただくことができます。

今後につきましても、市民の皆様がスポーツを身近に感じることができるよう、スポーツ施設の利用がしやすい環境づくりについて進めてまいります。

以上でございます。教育行政につきましても、教育長から御答弁申し上げます。

○岸野遥馬議長 教育長。

○佐後佳親教育長 （登壇）森の里中学校・江口愛美議員から、先生の働き方についての

御質問ですが、先生の多忙化は全国的に問題となっており、厚木市でも率先して取り組むべき課題であると認識しています。教育委員会では、先生の負担を軽減し、児童・生徒の皆さんと向き合うための時間をしっかりと確保するため、学校における働き方改革に全力で取り組んでいるところです。

部活動については、外部指導者の起用や週2日以上休養日の設定等を行うとともに、現在、国が推進する部活動の地域移行に向け、検討を進めています。

今後につきましても、生徒の皆さんが部活動で得られる学びを大切にしながらも、先生の負担を軽減できるような改善策を検討していきます。

○岸野遥馬議長 以上で第5グループの質問を終わります。

次に、第6グループの質問に移ります。

南毛利中学校・椿優杏議員。

東名中学校・高橋優芽議員。

最初に、南毛利中学校・椿優杏議員。

○11番 椿 優杏議員 （登壇）南毛利中学校の椿優杏です。

私は、中学校の給食について質問をします。

学校の給食を食べる際に、味つけがとても甘いものやパンを食べることにより、血糖値が上がるとネットで見たことがあります。上がることにより授業に集中できなくなることが多くあるので、この質問をしました。

私は、この問題に対し、日本人にとって昔から主食とされている御飯が健康によいですし、中には御飯よりパンのほうが好きという人もいますので、その場合は輸入した小麦粉ではなく国産の小麦にしたり、小麦粉ではなく米粉にして、その米を厚木産の米にすることにより地産地消ができます。そして、米も野菜も全てが地産地消で行える環境が、農家の人にとってもよいのではないかと私は考えます。

地産地消の野菜を使う。せっかくなら素材そのものの味を生かすために調味料をシンプルにする。例えば伝統的なしょうゆやミネラ

ルたっぷりな海塩などを使い、余計なものを入れずに、厚木と友好都市の糸満市の黒糖を取り寄せ使うことにより子供の味覚も育ち、さらに厚木と友好都市との関係もより深く、よいものになると思います。

そして、多くの友達も言っているのですが、米と牛乳は合わなくて、牛乳を残す人も多いので、選択できるようにしてほしいです。また、給食で使うグラタンやシチューなどの牛乳料理を豆乳に変える。厚木にはおいしい豆腐の店があるので、そこから豆乳やおからを使用する。おからは豆腐の副産物なので、おから料理を出すことによりSDGsにもなります。

このようなことから、給食の在り方について私はこのように思っていますが、市長はどうお考えですか、お答えください。

○岸野遥馬議長 次に、東名中学校・高橋優芽議員。

○12番 高橋優芽議員 （登壇）東名中学校の高橋優芽です。

私は、給食無償化について質問します。

これまで材料費以外は厚木市が負担をしてくれており、今年度から保護者の負担が軽減されましたが、ほかの税金として市民から徴収することによって、結局は形を変えて負担を強いられるのではないかとということと、給食の質が落ちる影響を心配しています。

給食を作るのに必要な経費はどのように捻出しているのでしょうか、教えてください。

○岸野遥馬議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）南毛利中学校・椿優杏議員から、給食の在り方についての御質問ですが、給食は、適切な栄養摂取による健康の保持増進、食事に関する正しい理解の促進、望ましい食習慣を養うことなどを目的に実施しております。

給食における地産地消につきましては、週に3回実施している米飯給食の中で、月に1回厚木産のお米を使用しているほか、パクパクあつぎ産デーには地場農畜産物を給食の食材として使用しております。

また、給食の献立では、友好都市の食文化

への理解を深めていただくために、各都市の郷土食を取り入れる工夫もしております。

厚木市の学校給食におけるSDGsにつきましては、牛乳パックの資源化、牛乳用ストローの廃止によるプラスチックごみの減量など、環境対策にも取り組んでおります。

皆さんに届けられる給食は、食材の生産者の皆さんの御苦勞に支えられているとともに、栄養士や調理員たちが皆さんの健全な成長のために献立や味つけなどを工夫して調理をいたしております。

私は、愛するふるさと厚木の未来を託す子供たちの健やかな成長を願い、子供たちの食の環境を社会全体で支えていく必要があると考え、今年度から学校給食費の無償化をスタートさせました。

私も、小学校、中学校を訪問し、児童・生徒の皆さんと一緒に給食を食べる機会があり、そのたびに、給食は成長期にある子供たちに欠かせない大切なものだと思感をいたしたところでございます。これからも新鮮な厚木産の野菜やお肉を給食に取り入れ、皆さんが笑顔になれる安心でおいしい給食を届けていきたいと考えております。

次に、東名中学校・高橋優芽議員から、給食費の無償化についての御質問でございますが、給食費の無償化につきましては、未来を担う子供たちの食の環境を社会全体で支えるとともに、保護者の皆様の教育に係る負担を軽減することを目的として、今年度から実施しております。

給食費の無償化を実施するための経費につきましては、市民の皆様新たな御負担をお願いすることなく、無償化の必要性を十分に精査し、市の事業の見直しなどを行うことで、年間の予算の配分の中で対応することができています。

これからも安心・安全な食材を選び、使用していくことで、質を低下させることなく、さらなる質の向上を目指して、皆さんにおいしい給食を提供し続けてまいります。

○岸野遥馬議長 以上で第6グループの質問を終わります。

ただいまの第5グループから第6グループの質問に対する答弁について、中学生議員から再質問はございますか。――別になければ、以上で終わります。

次に、第7グループの質問に移ります。

荻野中学校・福住花穂議員。

南毛利中学校・中村謙心議員。

最初に、荻野中学校・福住花穂議員。

○13番 福住花穂議員（登壇）荻野中学校の福住花穂です。

私は、厚木市のイベントについて検討していただきたいと考えています。

厚木市最大のイベントであるあつぎ鮎まつりは、昭和22年から例年8月上旬に行われています。昭和20年頃は8月の平均気温は28度でしたが、地球温暖化などによる影響で、昨年は34度と、あつぎ鮎まつりが始まってからの約80年間で平均気温が6度も上がっています。

このように、開催当初より気温も大きく変化していて、熱中症になってしまう人も多いのではないのでしょうか。特に、2日間あるうちの花火大会が行われる日は、午前中から屋台などを楽しみ、8時過ぎまでいると考えると、日中、炎天下で過ごすというのはとても危険です。私も実際、数年前のダンスレジェンドに出演し、熱中症になったことがあります。

なので、開催日程を10月などの涼しくなってきた頃に遅らせるというのはいかがでしょうか。10月は台風も少なくなってきた、涼しくなってくるので、空気も澄んで、より花火もきれいに見えるのではないのでしょうか。

あつぎ鮎まつりの日程検討についてお答えください。

○岸野遥馬議長 次に、南毛利中学校・中村謙心議員。

○14番 中村謙心議員（登壇）南毛利中学校の中村謙心です。

厚木市には商業施設が少ないと思います。僕は本が好きで、厚木市には海老名市のような本屋を含めた大きな商業施設が少なく、海老名市に比べて活気がないと思います。

なぜ厚木市には海老名市のような大きな商業施設がないのか質問します。

○岸野遥馬議長 市長。

○山口貴裕市長（登壇）荻野中学校・福住花穂議員から、あつぎ鮎まつりの日程についての御質問でありますが、近年の全国的な猛暑による熱中症などの健康被害が増加している状況を踏まえ、今年度のあつぎ鮎まつりは、市民の皆様や関係団体の皆様に御協力をいただき、ミストシャワーの増設や一時的に涼める場所を設置するなど、可能な限りの暑さ対策を行った上で、今月3日、4日に2日間にわたって開催をいたしたところでございます。当日は、日中の暑さが厳しい14時から16時までの時間帯は催しの開催を控え、参加団体の人数や時間短縮につながるように、内容などを見直してまいりました。

今後につきましても、今年度の開催実績などを参考に、厚木市が誇る歴史あるあつぎ鮎まつりについて、厚木の鮎にふさわしい時期に全ての皆様に安心して楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。

次に、南毛利中学校・中村謙心議員から、商業施設についての御質問でありますが、店舗面積の合計が1000平方メートルを超える大規模小売店舗、いわゆる商業施設の数、厚木市内全体では、ここ数年増加はしておりますが、引き続き市民の皆様が商業施設の誘致を望んでいることは認識しております。

本厚木駅周辺には、大型書店や、本屋などを含む大規模な商業施設がありますが、商業施設の存在は活気につながりますので、現在、厚木市では、本厚木駅北口を魅力あふれる玄関口へと生まれ変わらせるため、商業施設等を立地できるよう進めております。

また、本厚木駅周辺で大規模な商業施設が不足することになったときは、すぐに出店していただけるように、5年間で最大3億円の誘致に向けた補助制度を用意しております。

今後につきましても、中心市街地におけるさらなるにぎわいの創出を図るとともに、誰もが訪れてみたい、歩いて楽しいまちの実現に向け取り組んでまいります。

○岸野遥馬議長 以上で第7グループの質問を終わります。

第8グループの質問に移ります。

厚木中学校・柿木朝有議員。

南毛利中学校・高良来翔議員。

最初に、厚木中学校・柿木朝有議員。

○15番 柿木朝有議員 （登壇）厚木中学校の柿木朝有です。

私は質問が2つあります。

1つ目です。

私は、車道の脇を自転車で走っている際に、一般の自動車からクラクションを鳴らされたり、幅寄せなどの嫌がらせをされ、危険です。また、歩道で歩いているとき、自転車の通行が許されていない歩道で速度を出した自転車が多く通り、接触しそうで危険です。このような人たちは、自転車は原則車道を走るということを知っているのでしょうか。

自転車は原則車道を走る、歩道は歩行者優先で、走行可能な場合でも速度を出さないということを啓蒙する行事などの継続的な開催を希望します。

2つ目です。

私の通っている厚木中学校の北門の前の道路は、消防署から国道246号線に向かう狭い抜け道になっています。そのため多くの車が速度を出し、さらに道幅が狭いため、白線を超えて、通学中の生徒に接触しそうになります。大型車も通り、恐怖を覚えます。

この一方通行の道路へのバンプの設置など、減速対策を希望します。検討をお願いしますか。

○岸野遥馬議長 次に、南毛利中学校・高良来翔議員。

○16番 高良来翔議員 （登壇）南毛利中学校の高良来翔です。

近年、車の事故により登下校中の学生が被害に遭うことが多発しており、学生だけではなく、住民の安全が脅かされているのが今の状況です。

厚木市は道路幅が狭く、カーブも急な危険箇所が多くあると考えています。しかし、道路の多くはガードレールが設置されていない

ため、車両が道路から逸脱した場合、歩行者や自転車に乗る人が巻き込まれる危険性が高く、深刻な人身事故につながる可能性も懸念されます。

そこで質問します。

安心・安全に生活するために重要なガードレールは、今後、厚木市の道路に広く採用する予定はありますでしょうか。

○岸野遥馬議長 市長。

○山口貴裕市長 （登壇）厚木中学校・柿木朝有議員から、交通安全についての御質問でございますが、自転車の交通ルールの周知につきましては、厚木警察署や交通関係団体と連携し、年齢段階に応じた交通安全教室を実施し、自転車は車道が原則、左側通行など、自転車安全利用五則の周知徹底を図っています。

また、交通安全運動期間、交通安全に関わる事業やイベントなどの機会を捉えて、自転車ルールブックやチラシなどを活用し、啓発活動を実施しているところでございます。

次に、厚木中学校北側道路への対応については、住宅が密集し、道路の幅も狭く、有効な対策が厳しい状況ではありますが、ドライバーが交通ルールを遵守し、歩行者等に注意をしていただくよう注意喚起の表示を増やすとともに、交通ルールを守らない悪質なドライバーが多い場合は厚木警察署に取締りを依頼するなど、交通事故防止の観点から取組を進めてまいります。

また、バンプなどの減速対策につきましては、段差による振動や騒音が発生する可能性があることから、近隣にお住まいの皆様のご理解が必要であり、効果的な手法を厚木警察署や地元自治会長等と協議しながら、検討をしてまいりたいと考えております。

今後につきましても、歩行者、自転車も含めた全ての皆様が快適かつスムーズに通行できる道路環境の形成に向け、効果的な安全対策を推進するとともに、交通安全教室や啓発活動を通じて、交通ルールやマナー遵守の重要性を認識していただくことで、交通事故の防止に努めてまいります。

次に、南毛利中学校・高良来翔議員から、ガードレールの設置についての御質問でございますが、ガードレールにつきましては、国の基準により、橋や崖地など道路との落差がある箇所や、道路線形が悪い場所、車両の速度が速い道路における人家への飛び込みや歩行者の保護が必要な箇所、また、事故が多発している箇所などに設置しておりますが、道路幅員や周辺の状況などにより設置が難しい場合もあります。

今後につきましても、周辺に立地する施設の状況や交通量等を勘案した上で、歩行者等の視点に立った安全対策を進めてまいります。

○岸野遥馬議長 以上で第8グループの質問を終わります。

ただいまの第7グループ、第8グループの質問に対する答弁について、中学生議員から再質問はございますか。中村謙心議員。

○14番 中村謙心議員 再質問をします。

大型商業施設建設はいつ頃を予定していますか。

○内藤 悟市街地整備担当部長 大型商業施設といいますか、今、北口の生まれ変わりを市の施策として進めておりまして、それにつきましては、北口周辺の権利者の方たち31人の中の26人の方が、北口の再開発準備組合というのをつくりまして、そこを中心に、今、建物の建て替え等について検討しているところでございます。

それについては今検討している段階ですので、今すぐにといいことではないのですが、おおむね今の目標といたしましては、令和10年度頃に都市計画の決定をいたしまして、それ以降、順次手続を進めていきますので、それ以降またさらに5年ぐらいかけて、順調にいった令和13年から令和15年ぐらいをめどに進めていきたいというふうに考えていますが、まずは令和10年度の都市計画決定を目指して、今、進めているというような状況でございます。

○岸野遥馬議長 ほかになければ、以上で終わります。

○岸野遥馬議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、第5回あつぎ子ども議会中学生議会を閉会いたします。

○井上 武副実行委員長 皆様、本日は大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

ここで、南毛利中学校・高良来翔議員より、中学生議員を代表して感謝の言葉をいただきます。

高良来翔議員、お願いします。

○16番 高良来翔議員 起立、礼。

南毛利中学校2年の高良来翔です。18人の子ども議員を代表してお礼の言葉を申し上げます。

私たち中学生がこの場に立ち、市政について学び、意見を交わすことができたのは、大変貴重な経験でした。地域の課題や未来について真剣に考え、自分たちの意見を述べることの重要性を学びました。この経験を通じて、私たちは、大人の皆さんと共に地域社会を支える一員として自覚を持つことができました。これからも自分たちの考え方を大切に、未来をよりよくするための行動を続けていきたいと思います。

以上、中学生議員を代表して、お礼の言葉とさせていただきます。本日はありがとうございました。

一同、礼。

着席。

○井上 武副実行委員長 ありがとうございました。

最後に、山口貴裕厚木市長から中学生議員にメッセージをいただきます。

○山口貴裕市長 （登壇）ただいま南毛利中学校・高橋瑠海さんと厚木中学校・岸野遥馬

さんの2名の議長の進行によりまして、16名の子どもの議員の皆さんから、豊かな発想で率直な御質問、御意見をいただきました。本当にありがとうございます。皆さんが、この

議会に備え、厚木市のこと、そしてまた、地域のこと、そして社会のことを深く勉強し、たくさんの準備をしていただいたことがひしひしと伝わってまいりました。

身近なことに関心を持ち、疑問や問題に気づき、その解決策を考えることは、よりよいまちづくりに不可欠なことだと思います。皆さんの身近な疑問や問題の中には、市が解決しなければならないこともあります。中には皆さん自身で解決できるものや、市が少しお手伝いをすれば、あとは皆さんの力でできるものもあります。

子ども議員の皆さんには、勉強や部活動などで忙しい日々を過ごしていることと思いますが、地域や市のイベントに参加することで、地域の中で自分ができる役割を見つけることなどを通じてまちづくりに参加をしていただき、ふるさと厚木のことをより深く知っていただき、さらに厚木愛を深めていただけたらうれしい限りでございます。そして、厚木市が皆さんの夢とともにさらに大きく発展していくためにも、皆さんの力を貸していただきたいと思います。

今日の皆さんの姿は、大変、とても立派でありました。質問、受け答え、人の話を聞く態度、いずれもすばらしいものでありました。一人一人に、私自身、拍手を送りたいと考えております。これからは夢や目標を大切にし、様々なことにチャレンジをしていていただきたいと思います。

最後になりますけれども、子ども議会の開催に当たりまして多大なる御尽力をいただきました遠藤浩一市議会議員、また、松田則康実行委員長をはじめ市議会議員の皆様、保護者、学校関係者の皆様、そして子ども議員の皆様へ改めて感謝を申し上げ、子ども議員の皆様へのメッセージとさせていただきます。皆さん、本当にありがとうございました。

○井上 武副実行委員長 ありがとうございました。

以上をもちまして終了とさせていただきます。

午後 3 時17分 閉会

上記会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証し、ここに署名する。

厚木市議会議員	遠 藤 浩 一
子ども議員	佐々木 英 士
同	高 橋 優 芽
同	油 谷 星 風